

平成 29 年度 木祖村ふるさと納税報告書

ご寄附をいただいた皆様へ

このたびは全国各地の皆様から長野県木祖村へふるさと納税のご寄附を賜りまして誠にありがとうございました。村民を代表し、深く感謝申し上げます。

平成 29 年度は 497 名の皆様から 9,959,000 円のご寄附をいただき、平成 20 年度の制度開始以来、総額で 3173 万 2008 円となりました。お寄せいただきました貴重な寄附金は、木曾川源流の里木祖村の進める源流の里づくりに活用させていただきました。

今回、全国の皆様の御厚意によるふるさと納税寄附金がどのように使われているかご説明させていただきます。多くのご意見をお寄せいただき、皆様とともにむらづくりを進めていく所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 6 月

木祖村長 唐澤 一寛

平成 29 年度 寄附の状況

◆合計金額 9,959,000 円

◆寄付件数

個人 497 件

◆使途別内訳

使 途	件 数	金 額 (円)
① 森林整備・水源涵養・自然環境・景観の保全	134	2,742,000
② 高齢者福祉、医療・健康推進の充実	52	901,000
③ 美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり	65	1,376,000
④ ふるさとの伝統と文化を守る	107	2,142,000
⑤ 産業振興	35	606,000
⑥ 村づくり全般	104	2,192,000
計	497	9,959,000

寄附の使途

下記の事業の一部に皆様からのご寄附を充当させていただきました。

◆森林整備・水源涵養・自然環境・景観の保全

【公有林整備事業】

現在木曽郡の森林整備においては、木曽川の上下流交流をきっかけとし、上下流域住民が一体となり水源地域の森林を整備し、健全な水環境社会の構築に向けた取り組みを行なうため、木曽広域連合（木祖村を含む木曽郡6か町村で構成）と愛知中部水道企業団（愛知県中部の2市3町で構成）の間で、平成15年に木曽川「水源の森」森林整備協定を締結し、これを機に上流も下流も住民が使用する水道水1立方メートルにつき1円を積み立てた基金（下流域の「水道水源環境保全基金」と上流域の「木曽森林保全基金」）を活用して、平成17年度から木曽地域の森林整備（間伐、路網整備、鳥獣被害対策等）を進めています。平成29年度までの13年間に、約10,000haの民有林が整備され、順調に「水源の森」づくりが進んできています。

特に村有林については、国や県の補助金をはじめ、皆様からご支援いただきました「ふるさと納税寄付金」を活用させていただき、搬出間伐等を実施させていただいております。

29年度は、下記のとおり搬出間伐に活用させていただきました。

今後もさらに森林整備を進め、皆様と一緒に、山を守り、森を守り、水を守っていく所存でございますので今後とも何卒本村をよろしくお願い申し上げます。

① 平成29年度 村有林（木山沢団地）搬出間伐事業

事業費 9,504,000円

うち合板・製材生産性強化対策交付金（国・県補助金）：5,543,000円

内容：村有林 木山沢団地 12.09ha の搬出間伐を実施。

カラマツ他 約522m³を搬出。



◆ふるさとの伝統と文化を守る

【お六櫛の材料確保に向けて取り組み】

伝統工芸品である「お六櫛」の保存伝承活動や材料確保に向けた調査研究事業。また、村指定文化財の標柱修繕事業などにふるさと納税寄附金を活用させていただきました。

「お六櫛」は木祖村薮原地区に約300年前から伝わる木櫛で、長野県の伝統工芸品として愛され続けています。

◆産業振興・村づくり全般

【プレミアム商品券事業補助金】

「木曽川源流の里」水の源として、水源地域に相応しい地域であるために、山村地域の魅力を損なわぬため、村内における新規消費の拡大を図り、地域経済の活性化を促進するために、木祖村商工会が主体となり、「源気くんドリーム商品券」事業を実施しました。

発行額（発行規模）	発行卖価/枚 枚数/冊 単価	プレミアム 負 担	発行日 有効期限	取 扱 事業所数
30,000 千円 プレミアム分：6,000 千円 総事業費：37,751 千円 発行冊数 3,000 冊	500 円/枚 24 枚/冊 10,000 円	村 6,000 千円	7月1日 7月1日～ 3月10日 (8ヶ月間)	57 店舗 (55事業所)

【こだまの森ケビン建替え工事】

こだまの森キャンプ場オープン後 30 年を経過し、老朽化が進んでいた簡易宿泊施設（ケビン）を順次更新しています。平成 29 年度は計画の 3 年目となり、新しく 2 棟を建替えました。こだまの森はキャンプサイトや宿泊施設のほか、全国でも珍しい巨大迷路や 100m の雲梯などファミリー向けのレジャー施設として人気を集めています。

ケビン建替えに伴う事業費 38, 296 千円



◆美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり

【景観形成事業】

「木曽川源流の里」水の源として、水源地域に相応しい地域であるために、山村地域の魅力を損なわない、また多くの観光客の誘致を含め、森林整備等をはじめとした多くの景観形成事業を推進しています。平成 29 年度は観光地を中心に大きくなり倒木等の危険が増している立木の伐採や、モデル事業として村内に設置するゴミステーションの更新事業に納税寄附金を活用させていただきました。



小木曽・菅地区に設置された
ゴミステーション



大原地区斜面環境整備事業



◆高齢者福祉、医療・健康増進の充実

【定期予防接種と、村独自の任意予防接種補助事業】

予防接種は、感染症にかかる前にワクチンによって免疫をつけ、感染症の発症を予防または、重症化予防することにあります。ワクチンで予防できる感染症が増えてきているため、国で定めた定期予防接種に対する補助と、村独自の任意予防接種に対する補助事業を実施し、重篤な感染症の予防及び、村民の経済的負担が軽減されるよう支援しています。子育て支援策の一環でもある小児任意予防接種補助事業は、保護者のみなさまからも、喜びの声が寄せられている事業のひとつです。

○平成29年度 予防接種補助事業

事業費 4,529,246円

対象となる予防接種

区分	小児関係	高齢者関係
定期予防接種	B型肝炎、Hib・小児肺炎球菌、四種混合、麻疹風疹、BCG、水ぼうそう、日本脳炎、HPV	季節性インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン(65・70・75・80・85・90・95・100歳の方)
任意予防接種	小児おたふく風邪、妊婦と家族に対する風疹、ロタウイルス、インフルエンザ (定期接種対象年齢で未接種対象者) 麻しん風しん、B型肝炎	肺炎球菌ワクチン (65歳以上100歳未満で心臓疾患等、医師が必要と認めた方)